

20歳以下の乳歯・永久歯根管に ファイルを挿入する必要はない！

アメリカ歯内療法専門医が伝える、
GPが知っておくべき
科学的根拠に基づいた
歯髄を徹底的に守るアプローチ

日時：2020年5月17日（日）

9:00開場、9:30-17:30

場所：リファレンス駅東ビル会議室予定
(博多駅徒歩3分)

費用：38,500円(税込)

<早割>2月末日までにお振込の方限定
33,000円(税込)

#生活歯髄療法#Vital Pulp Therapy

#深いう蝕

#歯髄に近接するう蝕

#乳歯の歯内療法

#幼若永久歯の歯内療法

#万が一歯髄壊死が起こったとしても
ガッタパーチャーで根充はしない。

講師：松浦顯先生

米国歯内療法専門医

まつうら歯科医院歯内療法専門室・博多



内容：

歯髄の偉大な力

間接歯髄覆髓

生活歯髄切断（部分的、全部）

Apexogenesis

Regenerative therapy

本来は3時間x6回で開催されているSave the pulpコースの
エッセンスを絞り出した明日から役に立つ、特別1日コースです。

【概要】

多くの研究により、20歳以下の歯髄には「感染に対する防御力」といってもよい強い力が備わっていることがわかっています。若い歯髄の力を生かした現代の生活歯髄保存療法は、一般歯科医および小児歯科医が身につけておきたい知識と技術です。

しかしながら、実際の臨床の現場では、歯髄に近接するう蝕に対するアプローチは術者一人一人のバックグラウンド、臨床哲学によって異なります。また商業雑上などでBioceramic materialsをはじめとするマテリアルの発展により多くの患者さんの歯髄が救えるかのように報じられたり、情報が錯綜している様子を散見します。

この講演会は、古典的な文献、最新の文献を系統的に整理し、現代の生活歯髄療法に関するまっとうな知識の獲得、臨床応用力を身につけることを目的としています。

加えて、万が一、深いう蝕などにより根管治療が必要になった場合、二次象牙質の添加の少ない若年者の太い髓腔、根管はその拡大、根充手技も困難になる上、残存象牙質量が少なく歯根破折のリスクを内包しているともいえます。このような歯には、将来の歯根破折を防ぐため、根尖を閉鎖することや、根管内の象牙質の厚みを増すことが必要で最新の科学的根拠に基づけば、それらのことは可能です。これについても言及いたします(Regenerative therapy)。

【申込み方法】以下の2通りのいずれかよりお申込みください。

申込方法1: オンラインでのお申込み

北欧歯科HPより「セミナー講演会案内/セミナー情報」→「Savethepulp@博多」
申し込みフォームご入力の上、お申し込みください。

申込方法2: Faxでのお申込み

本チラシ下部に必要事項をご記入の上、Fax(092-707-3071)をお送りください。
こちらよりメールにてご案内をお送りいたします。

【お振込先】お申込み後、以下の振込先にお振込ください。なお、お振込をもってお申込完了とさせていただきます。

西日本シティ銀行三萩野支店（店番号032）総合口座3065752

医療法人カトー歯科医院 理事長 加藤守夫

イ) カトーシカイイン リジチョウ カトウモリオ

お詫び：

- お振込手数料は誠に申し訳ありませんが、ご負担のほどよろしく願いいたします。
- 預金口座からの振込の場合は、預金通帳の記録が領収書の代わりになるとうかがっておりますが、領収書が別途ご入用な方はメール(info@hokuohshika.com)にてお知らせください。当日お渡しいたします。

Save the pulp 5/17 お申し込み (Fax : 092-707-3071

お名前) 医院名

電話番号

メールアドレス お申込人数

※本セミナーの事務は北欧歯科（福岡市桜坂開業、担当加藤）が行います。
収益は、全額松浦先生に講師料としてお渡しいたします。